

湯河原伝統文化でおもてなし
～こども伝統文化体験～

新型コロナウイルス感染症対策
マニュアル

一般社団法人ひと・まち・ライフ・デザイン協会

2021.07.12



文化庁

子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業

1-1. 感染防止対策について

【基本事項】（茶道・盆栽共通）

- 感染防止の3つの基本(身体的距離の確保・マスクの着用・手洗い)や3密(密集・密接・密閉)の回避を徹底する。
- 本ガイドラインの周知徹底をする。
- 各個人か体調に気を付け、無理をせず、ご家族等の理解を得た上で参加するよう周知する。

【開催について】（茶道・盆栽共通）

- 神奈川県や施設等のガイドラインに従い、参加者の安全を最優先に開催可否を決定する。
- 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の催物の開催制限の目安を鑑み、開催の見合わせまたは延期を検討する。
- 規模の縮小、開催時間の短縮や時間指定(事前予約制など)による参加者の制限等を検討する。
- 本イベントにおける感染症対策マニュアルを作成する。
- 感染防止のため参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等に掲示すること）。
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分ちゅういしながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと。
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと。
- 来場前に、下記の症状がある場合には、参加を見合わせていただくよう、予約サイト、チラシ等で注意喚起を行う。

- 1) 風邪のような症状がある方
- 2) 37.5度以上の発熱がある方、および発熱が数日間続いている方
- 3) 咳やのどの痛みなどの風邪の症状、だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）、味覚障害、頭痛、体が重く感じる、疲れがある方
- 4) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる方
- 5) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航 並びに当該在住者との濃厚接触がある場合

【当日の対策について】

◇入場時（茶道・盆栽共通）

- 参加者と付き添い
- 会場入場時の検温(非接触型の体温計にて)とマスク着用、手指のアルコール消毒を徹底の上、発熱(37.5℃以上)や体調不良、マスク未着用者には入場をご遠慮いただくか、マスクを渡して着用してもらう。
- 咳エチケット、最低1-2mの人との間隔を空けていただくように促す。
- 参加者名簿で参加者をチェックする。
- 大きな声での会話や食事をご遠慮いただく。
- 夏季の熱中症対策として、水分は参加者が各自で用意する。

1-2. 感染防止対策について

● 講師とスタッフ

- 神奈川県や施設のガイドラインに従うこと。
- 会場入口、水屋に消毒用アルコールを設置する。
- 会場入口には、案内及び、サポートをする人の配置する。
- 会場入場時の検温(非接触型の体温計にて)とマスク着用、手指のアルコール消毒を徹底の上、発熱(37.5° C以上)や体調不良、マスク未着用者にはマスクを渡して着用してもらう。
- 咳エチケット、人との間隔に最低1m間隔を空けていただくように促す。
- 入退場時の混雑、長時間待機等を緩和する。
- 参加者への呈茶は原則行わないこととする。
- 夏季の熱中症対策として、水分は参加者が各自で用意する。

◇会場の配置 (茶道・盆栽共通)

- 間隔を 1m 程度空けて座る。
- ドア、窓等を開放し、サーキュレーターを設置し換気に注意して行う。
- 解説時にはマイクを使用する。

【実技指導】

◇実技 (茶道)

- 本ガイドラインに則った対応が可能な内容とする。
- 濃茶・薄茶ともに一人ずつ茶碗を替える。
- 亭主(点前)・客・水屋・業躰ともにマスク着用を徹底する。
- 当日の着座位置は、1テーブルに2名同一方向を向き、参加者の間はパーテーションを設置する。
- 参加者は15名の入れ替え制とする。
- 入替時は、テーブル、椅子をすべて消毒し、その後セッティングすることとする。
- 菓子は1つずつ個包装とする。
- 大声の会話を控え、咳エチケットを促す

◇水屋 (茶道)

- 水屋に入る人数を最小限にし、マスク着用を徹底する。
- 亭主(点前)・客・水屋・業躰は、席入直前、退席直後には石鹸手洗いとアルコール消毒を徹底する。
水屋で道具に触れる人数を限定する。
- 複数か手に触れる道具(水屋道具含む)は使い回さない。
- 水指等の水は、点前ごと入れ替える。
- 茶碗ほか熱湯消毒(30~60 秒)が可能な道具は、点前前後に必ず湯通しすること。食品用アルコールを使用する際は材質に留意すること。
- 点前道具を清める布巾は、点前ごとに交換する(塗物以外はペーパータオルの使用可)。
- 水屋手巾は置かず、使い捨て(ペーパータオル等)とする。
- 菓子の盛り付けは、銘々皿等を使い、箸・手袋等を使用、水屋道具も共用しない。

◇実技 (盆栽)

- 盆栽の道具の消毒を行う。
- 講師、受講生ともにマスク着用を徹底する
- 大声の会話を控え、咳エチケットを促す

1-3. 感染防止対策について

◇退場時（茶道・盆栽共通）

- 密にならず退出できるように、人の間に1m以上の間隔を空けて誘導する。

【会議・打合せについて】（茶道・盆栽共通）

- 極力オンラインでの会議を行い、対面を避ける。
- 対面の会議の場合は、短時間での会議(会話)を心掛け、一定の距離を保つ。
- 飲食を伴う打ち合わせ(懇親会含む)は行わない。
- お弁当などは業者による頒布とする。
- 昼食をとる場合は、対面を避け、会話は避ける。

【その他】（茶道・盆栽共通）

◇スタッフ、参加者への留意事項の徹底について

- ご家族、主治医、関係各位のご理解を得たうえで、参加する。
- 無理をせず、不安のある時は参加を控える。
- トイレにポンプ式の液体石鹸を配置し、ハンドドライヤーは使用中止にする。
- トイレの利用者が多い場合は、入場制限を行う。
- トイレの換気扇を常にまわし、小窓を開け換気に配慮すること。
- お弁当などは業者による頒布とする。
- 昼食をとる場合は、対面を避け、会話は避ける。
- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密封して縛り、ごみを回収する人はマスクや手袋を着用すること。
- マスクや手袋を外した後は、石鹸と流水で手を洗うか、手指消毒薬を資料するかのいずれかを行うこと。

◇事後対応について（茶道・盆栽共通）

- 万一、イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、所轄の保健所に届け出るとともに、必ず教育委員会と一般社団法人ひと・まち・ライフ・デザイン協会に連絡する。